

地域のか、支える気持ちに感謝！



学校は、地域の方に支えられている。その思いは、最近益々強く感じるものの一つです。

区長様、民生児童委員の皆様、交通指導員さん、見守り隊の方々…。4月に赴任して以来、様々な Episode があります。

【Episode1】

5月は、新1年生が交通事故に巻き込まれる可能性が高くなる。その前に交通教室を。警察の方、地区の交通指導員の皆様方をお招きして、安全な歩き方、自転車の乗り方などをレクチャーしていただきました。お陰様で今のところ…。これからも安全に過ごせますように！

【Episode2】

「本地区の民生児童委員です。是非、挨拶運動を…」と、年度初めの多忙な中にわざわざ学校に足を運んでいただきました。挨拶運動は、5月24日、好天の下実施。益々挨拶の輪が広がればと願っています。



【Episode3】

「皆さん、車道から離れて歩いて下さい」

「挨拶はもっと元気よくしてくれば…」

歓迎遠足に出かける前の見守り隊の方との顔合わせの時に頂いた言葉。現在13名で見守り活動を行って下さっています。日々大変でしょう。という問いかけに子供達から元気を貰っていますよという有り難い声。唯々感謝！



【Episode4】

読み聞かせボランティア、ケムケムさん。

ケムケムの名前は、下村湖人先生の考えに由来するとか…。初めて聞き、大変驚きました。



～真・善・美を求めて～

前回号で、下村湖人先生の「白鳥蘆花に入る」について触れました。本校の児童は、その考えにあまり触れていないのかな？という感想をもちました。

AI時代を迎える子ども達にとって、間違いなく必要な内容は、「心の教育」。そういう事を考えていたら、次のような記事が頭を過ぎりましたので紹介を！

「小さな命」

今から約30年前のプロゴルフの試合での実話です。ボールを打とうとしていたあるプロゴルファーの動きが、ピタッと止まりました。ボールの下にトンボがいたのです。そのまま打つか、それともトンボを助けるためにボールを拾い上げるか……。プロは迷いました。プロゴルフは1打の差で大きく順位が入れ変わり、当然獲得賞金も変わります。1打に生活をかける厳しい世界なのです。死骸だと思ってそのまま打とうとしましたが、念のために羽根に触ってみると生きていたのです。与えられた時間いっぱい使い、悩み続けたプロですが、1打のペナルティーを払ってとうとうボールを拾い上げたのでした。この1打が響き、プロの賞金は大きく下がってしまいました。

この心温まる話は、当時新聞の片隅で小さく紹介されましたが、その後、大きな反響があり、中学校の道徳の資料としても取り上げられたのだそうです。授業を受けた生徒からは、「賞金より、トンボの小さな命を助けた優しさ、思いやりを考えさせられました。どんな小さなことでもいいから、私も人の役に立つ人間になりたい」という感想文が寄せられたそうです。

本校では、毎月「心のアンケート」と称し、学校生活が楽しくおこなっているのかの調査を実施しています。いじめを未然に防ぐ、あるいは早期に発見し解決に導くアンケートです。しかし、何より大切なことは、その努力は継続しつつも、この話のように大人の背中、生き方で人の道を示したいものです。自分は大丈夫か？問いながらの毎日です(*^o^*)。

～ほっと一息～

「校長先生、宜しければ…」手渡されたのはベルマーク。PTA活動の一環で集めているベルマーク、ポイントを沢山集めるのは大変ですが、皆さんの善意が子ども達に還元されます。いつもどこかで学校のことを思っている方がいらっしゃる。心が熱くなった初夏の朝でした。

